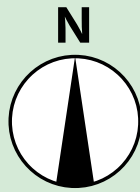


静岡 いきもの 散策マップ

麻機遊水地コース



麻機遊水地 第3工区

侵略する外来生物

外来生物とは、もともといなかった国や地域に、人間の活動によって持ち込まれた生きものを指します。

人為的に改変してきた遊水地では、外来生物が多く見られます。水中にはオオクチバスやウシガエル。甲羅干しているのはミシシippアカミミガメ。地面にはセイタカアワダチソウやオオキンケイギクが広がり、水面をオオフサモやホテイアオイが埋め尽くしています。元のような自然をみんなで取り戻す努力が必要です。



セイタカアワダチソウの群落



GPS情報: N 35 01 03.3 E 138 23 55.6

外来生物のうち、生態系、農林水産業、人の生命・身体への被害が大きいものについて、外来生物法で「特定外来生物」に指定し、その飼育・栽培、輸入、販売、野外に放つことなどを禁止しています。

野鳥の宝庫!

ここでは一年を通して約100種類の野鳥が見られます。サギの仲間やカルガモ、カワセミは年中見られます。夏にはオオヨシキリが、そして冬には北から渡ってきたカモの仲間が水面ににぎわいます。

ここは、静岡市街地で最大の野鳥の楽園となっています。双眼鏡を使って、静かにそっと観察しましょう。



観察小屋



GPS情報: N 35 00 55.9 E 138 24 05.6

湿地植物の保護

このような湿地では、ヨシやガマ、ハスなどが勢力を増し、ほとんどがこれらの植物で覆われてしまいます。そのため、ミズアオイやタコノアシといった貴重な湿地植物が見られなくなってしまう。

ここでは、これらの湿地植物を守るため、ボランティア団体が保護・管理活動をしています。初夏から秋にかけて色々な湿地植物を観察することができます。



保護試験地

ヒメガマ



オモダカ



サクラタデ

湿地の植物保護試験地



ミズアオイ

タコノアシ

GPS情報: N 35 01 14.1 E 138 24 08.7

トンボの王国

ここでは初夏から秋にかけて、小さなイトトンボの仲間から、アカトンボやヤンマの仲間まで、たくさんのトンボが見られます。図鑑で調べながら、よく観察してください。



ウチワヤンマ

アオモンイトトンボ

ナツアカネ

麻機遊水地

この付近は「沼のぼあさん」と呼ばれる伝説があり、一面ヨシ原や田んぼでした。

昭和49年の七夕豪雨で巴川が氾濫し洪水になったことから、遊水地として整備され、今も工事が続けられています。風景は随分と変わりましたが、水の面積が増え、野鳥や昆虫も増えているようです。



ヤナギの自生地

点在する池



広く開けたヨシ原



マルバヤナギ



湿地にはコゴメヤナギ、マルバヤナギなどが自生し増えてきています。中でもこのマルバヤナギは大きく育っています。

GPS情報: N 35 00 59.2 E 138 24 10.6